

## 1 原因、疫学

CSF ウィルスによる。

我が国においては、平成 30 年 9 月、岐阜県の養豚農場において平成 4 年以来 26 年ぶりとなる CSF の発生が確認されて以降、8 府県 48 例 (R1. 11. 9 現在) の発生が確認されている。

※CSF は「classical swine fever (古典的な豚の熱病)」の略称

## 2 感受性動物

感受性動物は、豚およびいのしし。

人には感染しない。

季節や性別に関係なくすべての発育段階において発症。

罹患動物との直接接触の他、鼻汁や排泄物の飛沫・付着物との間接接触により起こる。

## 3 症状

- 耳、下腹部、四肢等に紫斑 (チアノーゼ)
- 以下の症状を示す豚が一週間程度で増加している  
40 度以上の発熱、元気消失、食欲低下  
便秘、下痢  
結膜炎 (目やに)  
歩行困難、後躯麻痺、けいれん  
削瘦、被毛粗剛、発育不良 (ひね豚)  
死流産等の異常産  
皮下出血、皮膚紅斑、鼻や肛門からの出血、血便
- 複数の繁殖又は肥育豚などが突然死



写真出典:岐阜県

(出典:農林水産省 HP)

## 4 その他

CSF は豚およびいのししの病気であり、人には感染しません。

CSF の人への感染は、国際機関 (OIE:国際獣疫事務局) の情報においても世界的に報告されておりません。

CSF に感染した豚肉が市場に出回ることはありません。

豚は、と畜場法に基づき、全頭、都道府県等のと畜検査員が異常や疾病がないか検査しています。豚肉は、この検査に合格したもののだけが市場に流通することとなっています。